

自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 尾崎自治会連合会
2. 日 時 平成 29 年 7 月 13 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分
3. 場 所 尾崎中央ふれあい会館
4. 出 席 者 自治会長 19 名、 市長、 企画総務部長

<内容>

○連合会長のあいさつ

○市長のあいさつ

○行政の説明

- ・ ひと・くらし・まち とともに「育む」各務原

○テーマ概要

テーマ①：まちづくり活動補償制度について

テーマ②：高齢化とお買い物

テーマ③：災害時の緊急避難場所について

テーマ④：山崎工業団地の出入口

○提言による懇談

テーマ①：まちづくり活動補償制度について

〈尾崎南町 4 丁目自治会長〉

自分の経験に基づいて提言したいと思います。私はパークレンジャーや近隣ケア、社協の理事として頑張っています。個人的には団地内の遊歩道の草刈や公園の管理などもボランティアとして行っています。

6 月 4 日の市民清掃では、尾崎南町 4 丁目自治会では 3 班に分けて行いました。尾崎南町公園では草引きのほか、生け垣や樹木の剪定、枯れ枝の処理も行い、盛り沢山の作業があります。清掃日当日の時間内では終了しないので、事前に準備作業を行おうと自分の都合の良いときに作業を実施しました。

実際の作業は 5 月 24 日に一人で椿の木の剪定を行い、当日の作業の目鼻が付きました。ところが、公園作業の翌日から胸と脇腹にかゆみがでて、見てみるとじんましんのような赤い湿疹がいっぱい出ていました。

ネットで調べたら、椿のそばのサザンカの木に発生するチャドクガの幼虫に刺された疑いが高いと知り、公園の椿の木を見てみると驚くほど沢山のチャドクガの幼虫が葉に付いていました。

剪定の木を小脇に掲げて運んだ際、衣服を通して刺されたものと思われました。自分なりに学習してみると、チャドクガは成虫や幼虫、卵も毒素を持っている恐ろしい生物と知り、二度目三度目と刺された方が体へのダメージが大きいことを学びました。

後日、4 月の自治会長大会の時に、まちづくり活動補償制度の資料を頂いたことを思い出し、通院した後に担当課に相談したところ、「一時的な善意の行動で、計画に基づいた活動ではないの

で補償制度の対象にはならない」とのことでした。尾崎自治会連合会では、自治会活動保険に入っていて、その保険は柔軟な対応で認めてもらいました。

提案としては、自治会の自主的なボランティアとしての活動は対象として認めていただきたく、保険契約の対象としていただきたいとのことです。対象の拡大をしないと、今後高齢者が増える中、さらなるボランティア人口の減少に繋がる危機感を持っています。

〈市長〉

まちづくり活動補償制度は平成 26 年度にスタートいたしまして、それまでは各自治会が入っている保険だけの状況でした。市内で行っていただく多くのまちづくり活動に着目してこの制度が始まったわけです。

この制度には 4 つの要件があります。一つ目は自主的・自発的に構成されたグループ、地域住民組織である自治会が行っている活動であること。二つ目は無報酬の活動であること。三つ目は継続的・計画的に行われる活動。四つ目は公益性のある活動ということですが、今回は計画的であるという部分の要件で入っていなかったのではと思います。

本制度は全市民を対象にしているものであるので、補償の決定にあたっては細心の注意を払い要件を満たしていることが必要で、突発的な善意の行為は対象となりません。

保険という立場から見ると、今後は事前の活動も計画的に行っていただくことであればと思います。今後は事前の準備も計画に入れていただければと思います。

テーマ②：高齢化とお買い物

〈尾崎北町 1 丁目自治会長〉

高齢化にともなって行動範囲が狭くなります。イオン各務原まで行く交通手段が少ないと思い、イオンまでの直通バス路線を作っていただけないかと思います。高齢となると車の運転ができなくなり、独居老人も増えていきますので、自分だけの行動が限られてできなくなり、外出が億劫となり、家にこもる場合が多くなると聞いています。買い物も楽しみの一つですし、買い物の移動を楽にすることと、買い物難民を増やさないためにも直通バスの検討をしていただきたいと思います。

現在のふれあいバスを使ったイオンまでの道のりを調べてみました。那加線と川島線を使い、尾崎ショッピングセンター前を出て名鉄新那加駅で乗り換えるルートですが、イオンまでの所要時間は 47 分です。帰路は 49 分かかります。待ち時間も長い場合もあり、JR 岐阜駅までが 40 分ぐらいなので、時間的に遠い場所になってしまいます。もう一つのルートで、尾崎ショッピングセンター前から各務原市役所前駅に行き、イオンのシャトルバスに乗り換える場合も、往路復路も本数は多くなりますが所要時間としては大きく変わりません。

ふれあいバスが使いやすくなれば、市が始めた運転免許証自主返納も多くなり、最近ニュースで取り上げられているアクセルの踏み間違いなど、安全運転対策にも役に立ちます。

〈市長〉

ふれあいバスは、平成 27 年の 10 月からリニューアル運行しています。間もなく 2 年が経過します。ご存知の方も見えかと思いますが、以前は東海学院大学から鵜沼の方まで、市の西から東まで 2 時間かかりました。1 時間に 1 本の運行と、16 ある JR・名鉄の駅や名鉄バスなど、公共交通機関との連携をしながらの運行を行っています。したがって駅に来るような路線図とな

っています。

尾崎団地は複数のコース（那加線、東西線）で、左回りと右回りが乗り入れており、市内ではここだけです。高齢者の方が買い物難民になってはいけないという思いで、このような路線となっています。

各務原市はバスや名鉄など、公共交通機関も運行がなされており、この連携が比較的スムーズに行けると思っています。イオンというお話ですが、イオン以外にもイオンタウンなどほかのショッピングセンターも活用いただきながら、また岐阜方面への利用にも活用していただきたいと思えます。

今ある路線を使っていただくとか、バローなどは敷地内にもバス停を設けていますのでご活用いただきたいと思えます。ふれあいバスは毎年ご意見をお聴きしておりまして、完成形ではありません。色々な交通機関を駆使していただきながら、イオンモールへの直通は難しいと思えますが、会長に行っていたいただいた利用コースのシミュレートや、ふれあいバス利用のPRを進めていきたいと思えます。

〈尾崎南町 4 丁目自治会長〉

12 月の 29 日からふれあいバスは運休となります。JR などは休日ダイヤですが、高齢者などは年末の買い物もあるため、せめて 30 日ぐらいまではどうかありませんか。

〈市長〉

委託のバス会社にも要望してみますが、バスの運転手の確保やバス本体の確保の問題があると思えます。

テーマ③：災害時の緊急避難場所について

〈尾崎北町 2 丁目自治会長〉

尾崎地区では、市が指定する一次避難所は尾崎小学校となっています。特に高台にあり、高齢になると行くのが大変です。災害時には車も通れないので、災害時の避難所としていいのかなという思いがあります。自治会長になって痛切に思っています。

最近、全国では災害が頻繁にあります。今までになかった大きな災害があった場合、どうしようかと思っています。また最近は個人情報の問題があり、会長が把握していても班長に周知できていないのが実情です。

避難所としても保育所とか近くの場所があります。ちなみに一時避難所としても北町では集会所をいざという時は開放しています。

災害時は市と自治会は連携しなければいけないと思えますので、よろしく願います。

〈市長〉

台風や地震、集中豪雨など、色々な自然災害が増えています。各務原市ではそのような場合、市の災害対策本部を立ち上げまして、私が本部長になります。今年度は地震以外の集中豪雨を想定し、また降り続けている状況から行き、色々な課題が見つかりました。市民の皆さんが不安にならないような体制を整えていきたいと考えていますのでよろしく願います。

指定避難所についてですが、市内 18 カ所の小学校、一部は中学校を一次避難所として指定しています。尾崎地区では小学校を一次避難所とし、現地連絡所も併設し職員を配置しています。

自治会が所有している集会所等を市の避難所として指定してはどうかというご提案ですが、

その数が多いのが一番の課題です。職員の配置や物資の備蓄、通信手段の確保などの課題がありますので、それらの施設を指定するのは難しいと考えています。集会所等については、自治会や自主防災組織などの共助による一時的な避難や情報収集の拠点としてご活用されてはと思います。

自治会の集会所と指定避難所との連携については、集会所を開放することは全く問題ありませんが、災害時には通信手段が不備な点もあり、避難者の把握が困難であることから、物資の手配ができないため、現地連絡所のある尾崎小学校に連絡をいただき物資の手配をしていただきたいと思っています。

ちなみに先日の集中豪雨でも市内で避難者が出ましたが、地元のふれあいセンターを開放し活用いただき、宿泊もされました。緊急的な避難、一時的な避難であれば職員の配置も可能でありますので、対応ができれば、適時の判断で集会所の活用をしていただければと思います。

テーマ④：山崎工業団地の出入口

〈尾崎北町 3 丁目自治会長〉

朝の通勤から提案をしたいと思っています。20 年前はあまり車も通らなかったのですが、山崎周辺は工業団地に変わり、また朝の 8 時出勤時に合わせて、東海石材店角の交差点は車が殺到し、その通勤ラッシュ時には桜丘中に行く子どもたちの通学と重なり、道路の横断も多く、事故の報告はありませんが、交通ルールを守らない通勤者もいて、小さな事故もあると思います。

ここ 10 年ぐらいで車の量が増え、トレーラーなどの大型車が増えており、子どもたちと接触したら危ないと思います。

しかし工業団地の出入口は日幸製菓の角にもう一カ所ありますが、右折できないので、結局東海石材店角の危ない交差点を通ることとなります。もう一つの交差点で、右折できれば危険もなくなります。

〈市長〉

山崎工業団地のおがせ街道の交差点には、道路中央にポストコーンが設置されており、右折することができない状況ですが、これは工業団地の開発時に、右折可能な信号交差点の設置に関する公安委員会との協議で、西側の信号交差点との距離が近いということで信号交差点が不可となり、公安委員会の意見で「右折ができない交差点」となっています。

しかし、工業団地の出入口となっている交差点で、車両は小中学生の通学路となっている東側の道路を通ることになりますので、那加一小的児童や桜丘中の生徒の安全が懸念されます。

通学路の安全対策として、まずは東側の出入口に大型車が回り込まないように、おがせ街道の交差点で右折ができるように県や警察と協議していきたいと思っています。

また右折が認められない場合には、通学路の車道と歩道の分離を図るために、通学路を両側自歩道となっている主要地方道の川島三輪線に振り替えるなど、安全な通学ルートについて PTA や保護者の皆様と話し合いを進めていきたいと思っています。子どもたちの安全確保に努めていきたいと思っています。

○その他の主な発言

〈尾崎北町 1 丁目自治会長〉

通勤時に尾崎団地からの中学生の自転車も同じ道で通学していますが、下りの反対車線の車道

を走り、並行して走る自転車もあり、危ないことが見受けられます。

急な車線変更などもあり、車の正面衝突も危ないので、お願いできたら中学校でも自転車の指導をしてもらえないでしょうか。

〈市長〉

何かあってからでは遅いと思います。自転車のマナーというものを忘れているかもしれません。しっかりと中学校から指導してもらいます。

○連合会長からまとめのことは

○市長からまとめのことは